



環境経営レポート

対象期間：2023年7月～2024年6月



大塚建設株式会社

発行日：2024年9月2日

目 次

	ページ
1、 取組の対象組織・活動の明確化	2
2、 環境経営方針	3
3、 環境経営目標	4
4、 環境経営計画	5
5、 実施体制図	6
6、 環境経営目標実績結果と評価	7
7、 環境経営計画の実施評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	8～10
8、 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	11
9、 代表者による全体の評価と見直・指示	12
10、 環境活動の紹介	13～14

1. 取組の対象組織・活動の明確化

□取組の対象組織・活動

○組織の概要

(1) 名称及び代表者

- ・大塚建設株式会社
- ・代表取締役 大塚寿一

(2) 所在地

- ・本社 香川県坂出市京町二丁目4番28号
- ・倉庫兼作業場 香川県坂出市昭和町一丁目938-1
- ・資材置場 香川県坂出市昭和町一丁目941-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・環境管理責任者 山城二三代
- ・連絡担当者 山城二三代
- ・TEL 0877-46-6666

(4) 事業内容

- ・総合建設業(土木、建築、大工、左官、とび・土工、石、屋根、
タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、鉄筋、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、
熱絶縁、建具、解体工事業、一級建築士事務所)
- ・産業廃棄物収集運搬業
(現在自社運搬のみ)

(5) 事業の規模

- ・売上高(出来高) 100百万円／5年度
- ・工事等の件数 67件
- ・従業員 7人
- ・延べ面積

事務所	592.73m ²
倉庫兼作業場	414.00m ²
資材置場	343.53m ²

(6) 事業年度

- ・7月～6月

○認証・登録の対象範囲

全組織 ・ 全活動

2. 環境経営方針

大塚建設株式会社

環境経営方針

基本理念

大塚建設株式会社は、『信頼できる建築会社として地元のお客様に喜んでいただけることが私どもの存在価値であり、責任と誇りを忘れずにしあわせを共有したい。』という経営理念のもと、事業である建設業を通じて、大切なお客様に省エネ住宅を追求した新しい住宅を提案し、地球温暖化防止へ積極的に取り組みます。

行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物の削減及び再生利用の推進
- ③水使用量の削減
- ④健康に配慮した省エネ住宅の提案の推進
- ⑤地域での環境活動の実施

2. 環境関連法規・条例・規則や当社が約束したことを遵守します。

環境経営方針は、全ての従業員及び下請の協力会社様に周知し、継続的改善活動に取り組みます。

制定日：2018年8月1日

改訂日：2019年8月1日

代表取締役 大塚 寿一

3. 環境経営目標

○中・長期目標

項目	単位	目 標			
		基準値	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量の削減 * 1	kg-CO2	29,944	29,645	29,345	29,046
・電気使用量削減	kWh	24,734	24,487	24,239	23,992
・ガソリン、軽油、灯油使用量削減	L	7,375	7,301	7,228	7,154
一般廃棄物排出量削減	kg	510	505	500	495
産業廃棄物排出量削減	再資源化	—	95%	96%	97%
水使用量削減	m3	117	116	115	113
省エネ住宅の提案	件数	8	9	10	11

※基準値は過去3年間の実績の平均値を基準値として設定。

* 1. 電力のCO2 発生量については、

電力の調整後排出係数は四国電力(株)公表の2020年度実績 0.574 (kg-CO2/kWh) を使用。

※ 化学物質の使用はありません

○今年度は2023年度の目標に取り組めます。

・事務所

項目	単位	基準値	目標
二酸化炭素排出量の削減 * 1	kg-CO2	28,299	27,733
・電気使用量削減	kWh	23,763	23,288
・ガソリン使用量削減	L	6,320	6,194
・灯油使用量削減	L	486	476
一般廃棄物排出量削減	kg	510	500
水使用量削減	m3	117	115

・建設現場(倉庫兼作業場含む)

項目	単位	基準値	目標
二酸化炭素排出量の削減 * 1	kg-CO2	1,645	1,612
・電気使用量削減	kWh	971	951
・軽油使用量削減	L	569	558
産業廃棄物排出量削減	再資源化率	—	96%
省エネ住宅の提案	件数	8	10

4. 環境経営計画

○事務所

○取組期間 2023年7月 ～ 2024年6月

		具体的実施項目	責任者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②エアコンの適正温度の維持 ③待機電力を無くす	環境 管理責任者
	ガソリン使用量削減	①エコドライブ(アイドリングストップ) ②エコドライブ(ふんわりアクセル) ③自転車の使用	環境 管理責任者
	灯油使用量削減	①ストーブのこまめな火力の調整	環境 管理責任者
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	①コピー用紙・封筒の再利用 ②使い捨て製品の抑制 ③FAX出力事前チェックの実施 ④カタログを増やさない	環境 管理責任者
水使用量削減	水使用量削減	①手洗い時の節水の励行 ②バルブを調整し水圧の調整	環境 管理責任者

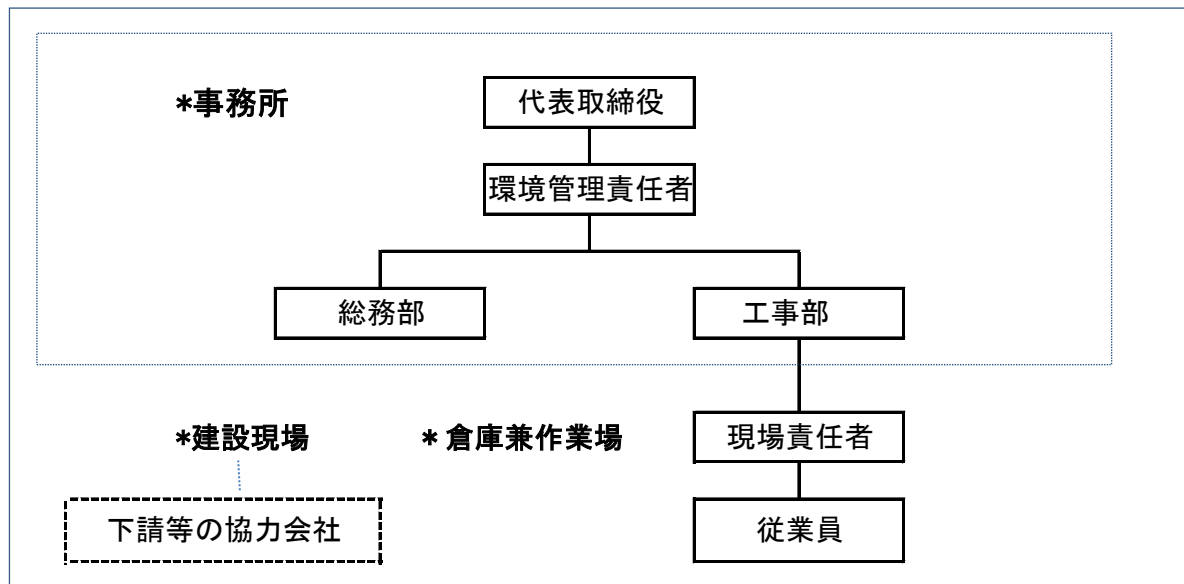
○現場(倉庫兼作業場含む)

○取組期間 2023年7月 ～ 2024年6月

		具体的実施項目	責任者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す ②効率の良い作業をする	現場責任者
	軽油使用量削減	①アイドリングストップの徹底 ②定期的な保守点検の実施	現場責任者
産業廃棄物排出量削減	廃棄物の削減及び再資源化	①分別を実施し、混合廃棄物を削減する ②協力会社への働きかけ強化	現場責任者
組織本来の取組	省エネ住宅の提案	①ZEHの周知・普及に向けた提案 ②断熱性能、再生可能エネルギーだけでなく 間取り、住まい方による省エネルギー 効果を提案	代表取締役

5. 実施体制図

大塚建設株式会社 実施体制図



		役割・責任・権限
代表取締役		・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・部門の特定された緊急事態への対応マニュアルの承認 ・環境経営レポートを確認し、承認 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者		・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境経営目標、環境経営計画書を作成 ・環境経営計画の取り組み結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの作成 ・特定された緊急事態への対応マニュアル確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	総務部	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・環境経営活動の実績集計
	工事部	・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営活動へ参加

6. 環境経営目標実績結果と評価

○取組期間 2023年7月 ～ 2024年6月
○全体

項目	単位	基準値	目標	実績	達成率(%)	評価
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	29,944	29,345	27,738	105	○
・電気使用量削減	kWh	24,734	24,239	26,956	89	×
・ガソリン、軽油、灯油使用量削減	L	7,375	7,228	5,244	137	○
一般廃棄物排出量削減	kg	510	500	358	139	○
産業廃棄物排出量削減	再資源化率	—	96%	68%	70	×
水使用量削減	m3	117	115	108	106	○
省エネ住宅の提案	件数	8	10	4	40	×

○:達成 ×:未達

○事務所

項目	単位	基準値	目標	実績	達成率(%)	評価
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO2	28,299	27,733	26,918	103	○
・電気使用量削減	kWh	23,763	23,288	26,012	89	×
・ガソリン使用量削減	L	6,320	6,194	4,718	131	○
・灯油使用量削減	L	486	476	419	113	○
一般廃棄物排出量削減	kg	510	500	358	139	○
水使用量の削減	m3	117	115	108	106	○

○建設現場(倉庫兼作業場含む)

項目	単位	基準値	目標	実績	達成率(%)	評価
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO2	1,645	1,612	820	196	○
・電気使用量削減	kWh	971	951	944	100	○
・軽油使用量削減	L	569	558	107	521	○
産業廃棄物排出量削減	再資源化率	—	96%	68%	70	×
省エネ住宅の提案	件数	8	10	4	40	×

○コメント(事務所、現場(倉庫兼作業場含む)を記述)

二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素全体の排出量は、目標を達成することが出来たが、その内の電気使用量のみ未達成に終わった。これは現場が少なく事務所にいる時間が多かった為であり、今後は意識をもっと高めて削減に努めたい。 ガソリン・灯油は、実施項目をを意識したことで削減ができた。 軽油は、現場の土工事に使用する重機の使用頻度が少なくなったため減少した。 倉庫兼作業場の電気も目標が達成できた。今後も効率の良い作業で削減につなげたい。
廃棄物排出量の削減	事務所は、実施項目の意識付けが定着しつつあり、目標を達成出来た。FAX出力事前チェックは、確認してから出力なので無駄な出力がなくなったことで大幅に排出量が減少した。 産業廃棄物の再資源化率が目標達成できなかったのは、石膏ボード等再資源化できない産業廃棄物があった為であり、これは仕方がないと判断している。
水使用量の削減	達成できている。実施項目も、定着している。
省エネ住宅の提案	完成住宅の見学会や事務所でのセミナーは、工事価格の急騰により人の動きが悪く、会社のホームページ等で発信したが集客率が低かった。お客様には省エネより光熱費の低減が響くので、節約金額に置き換えて提案するようにした。

7. 環境経営計画の実施評価

(具体的取組内容と月次実施報告)

○事務所
・取組期間 2023年7月 ～ 2024年6月

		具体的実施項目	7～8	9～10	11～12	1～2	3～4	5～6	評価	責任者
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す	○	○	○	○	○	○	○	環境 管理責任者
		②エアコンの適正温度の実施	○	○	○	○	○	○	○	
		③待機電力を無くす	○	○	○	○	○	○	○	
	ガソリン使用量削減	①エコドライブ(アイドリングストップ)	○	○	○	○	○	○	○	環境 管理責任者
		②エコドライブ(ふんわりアクセル)	○	○	○	○	○	○	○	
		③自転車の使用	○	○	○	○	○	○	○	
	灯油使用量削減	①ストーブのこまめな火力の調整	—	—	○	○	○	—	○	環境 管理責任者
一般廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 排出量削減	①コピー用紙・封筒の再利用	○	○	○	○	○	○	○	環境 管理責任者
		②使い捨て製品の抑制	○	○	○	○	○	○	○	
		③FAX出力事チェックの実施	○	○	○	○	○	○	○	
		④カタログを増やさない	○	○	○	○	○	○	○	
水使用量 削減	水使用量削減	①手洗い時の節水の励行	○	○	○	○	○	○	○	環境 管理責任者
		②バルブを調整し水圧の調整	○	○	○	○	○	○	○	

○:計画通り実施
△:一部出来なかった
×:出来ていない

○評価に対するコメント

項目	評価に対するコメント
二酸化炭素排出量削減	決めた項目は実施し目標は電気使用量以外は達成できた。これからも継続して取り組み更に努力したい。 ガソリン・灯油もエコドライブ等を意識したことで削減ができた。
一般廃棄物排出量削減	コピー用紙の再利用も意識付け定着している。 文房具等必要な場合は、詰め替えがある商品を注文する様にした。 FAX出力事前チェックは、確認してからの出力なので無駄な出力がなくなり大幅に削減できた。 カタログは、必要最小限に減らすことができた。
水使用量削減	節水等の貼り紙をつくり意識付けをし、定着している。 他の項目も実施できている。

7. 環境経営計画の実施評価

(具体的取組内容と月次実施報告)

○現場(倉庫兼作業場含む)

・取組期間 2023年7月 ～ 2024年6月

		具体的実施項目	7～8	9～10	11～12	1～2	3～4	5～6	評価	責任者
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量 削減	①不要な照明を消す	○	○	○	○	○	○	○	現場 責任者
		②効率の良い作業をする	○	○	○	○	○	○	○	
	軽油使用量 削減	①アイドリングストップの徹底	○	○	○	○	○	○	○	現場 責任者
		②定期的な保守点検の実施	○	○	○	○	○	○	○	
産業廃棄物 排出量削減	産業廃棄物 排出量削減	①分別を実施し、混合廃棄物を削減する	○	○	○	○	○	○	○	現場 責任者
		②協力会社への働きかけ強化	○	○	○	○	○	○	○	
組織本来の 取組	省エネ住宅 の提案	①ZEHの周知・普及に向けた提案	—	○	—	○	—	○	○	代表 取締役
		②断熱性能、再生可能エネルギーだけでなく、間取り、住まい方による省エネルギー効果を提案	—	○	—	○	—	○	○	

○: 計画通り実施
△: 一部出来なかった
×: 出来ていない

○評価に対するコメント

項目	評価に対するコメント
二酸化炭素排出量削減	決めた実施項目は出来ている。定期的な保守点検は重視し実施した。 作業場の電気も引き続き、効率の良い作業で削減に努めたい。
産業廃棄物排出量削減	協力会社への働きかけを強化し、分別を徹底した。
省エネ住宅の提案	ZEHの周知・普及に向けた提案をするために、会社のホームページ等を活用し発信したが集客率が低かった。お客様は省エネより光熱費の低減が響くので、節約金額に置き換えて提案するようにした。

次年度の環境経営計画

○事務所

○取組期間 2024年7月 ～ 2025年6月

		具体的実施項目
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す
		②エアコンの適正温度の維持
		③待機電力を無くす
	ガソリン使用量削減	①エコドライブ(不要な荷物は降ろそう)
		②エコドライブ(減速時早めにアクセルを離す)
		③自転車の使用
一般廃棄物再資源化	一般廃棄物再資源化	①ストーブのこまめな火力の調整
		①コピー用紙・封筒の再利用
		②使い捨て製品の購入抑制
		③FAX出力事前チェックの実施
		④カタログ類を増やさない
水使用量削減	水使用量削減	①手洗い時の節水の励行
		②トイレの大小レバーの使い分け

○現場(倉庫兼作業場含む)

○取組期間 2024年7月 ～ 2025年6月

		具体的実施項目
二酸化炭素排出量削減	電気使用量削減	①不要な照明を消す
		②効率のよい作業をする
	軽油使用量削減	①アイドリングストップの徹底
		②定期的な保守点検の実施
産業廃棄物再資源化	廃棄物再資源化	①分別を実施し、混合廃棄物を削減する
		②協力会社への働きかけ強化
組織本来の取組	省エネ住宅の提案	①ZEHの周知・普及に向けた提案
		②断熱性能、再生可能エネルギーだけでなく間取り、住まい方による省エネルギー効果を提案

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用法令等	適用内容	遵守確認
産業廃棄物 ・ リサイクル		
産業廃棄物処理法	産廃のマニフェストの適正な作成・保管・監理 現場保管の場合、積上げ高さの厳守、雨・風・悪臭の発生に対する養生 保管場所の掲示板設置	遵守
建設リサイクル法	一定規模の解体・建築・土木において、分別解体・再資源化・再生資源 の使用の計画を行う 知事(市町村長)へ着手7日前までに届出	遵守
リサイクル法	指定副産物の発生抑制(施工方法・資材選択) 再利用、再生利用、再資源化努力	遵守
容器包装 リサイクル法	市町村が定めた分別の基準に従い容器包装も適正に分別排出	遵守
建設廃棄物処理指針	マニフェストに基づく適正処理の実施	遵守
騒音 ・ 振動		
騒音規制法	地域指定において特定建設作業の場合、知事(市町村長)へ7日前ま でに届け出 規制基準の厳守	遵守
振動規制法	地域指定において特定建設作業の場合、知事(市町村長)へ7日前ま でに届け出 規制基準の厳守	遵守
水 質 汚 染		
浄化槽法	浄化槽(合併処理浄化槽)の設置届け出 使用廃止後30日以内の届け出	厳守
大 気 汚 染		
フロン排出抑制法	特定製品の修理、廃棄時の適性回収・破壊措置義務 フロン回収登録業者への委託 第一種特定製品の簡易点検記録の作成	厳守
そ の 他		
道路交通法・道路法	運転手は乗車人員・積載物の重量・大きさ・積載の方法等、法令を遵守	遵守
条 例		
坂出市 環境基本条例	事業活動を行うに当たって自然環境を適正に保全するために必要な措 置を講ずる	遵守
坂出市 公害防止条例	事業活動を行うに当たっての公害防止その他市が実施する公害防止の 施策に協力する	遵守
香川県 環境基本条例	事業活動を行うに当たっての公害防止その他への環境への負荷の 低減。県が実施する環境の保全に関する施策に協力する	遵守
香川県生活環境の 保全に関する条例	事業者は地球温暖化の防止に関する理解を深め、エコ運転の励行、 廃棄物の発生の抑制、資源の有効利用、電気の使用量の削減等に 取り組む	遵守

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等は過去3年間ありませんでした。 11

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

事務所の環境目標は電気使用量が不達、建設現場は産業廃棄物の再資源化率と省エネ住宅の提案が未達成となりました。

事務所に関しては昨夏は酷暑だったため、エアコンの電気使用量が平年より多かったため未達になりました。今後も夏場の気温は高くなると予測されるため、対策の検討が必要かと考えます。

建設現場の産業廃棄物の再資源化率の未達については、比較的小規模な工事が多く工事現場に産業廃棄物コンテナを設置する機会が少なかったため、混載になってしまったことが原因と考えます。小規模工事でも分別集積できる工夫をしたいと思います。

事務所・建設現場とも環境負荷の大きい二酸化炭素排出量削減目標は達成でき、次年度も目標達成できるよう気を引き締めて行きたいと思います。

省エネ住宅の提案件数は、イベントの集客活動を中心に行っておりますが、今年度は集客率が低かったです。次年度は自社ホームページ上でPRできるように内容の更新を図っていきます。

事務所・工事現場とも次年度も気を緩めることなく更なる削減に努めます。

社員の環境活動に対する意識が定着するよう、マンネリ化して社員の意識が低下しないよう、運用方法を改善しさらに推し進めるよう努力していきたいと思います。

見直しの有無

	有	無
・ 環境経営方針	☐	☒
・ 環境経営目標	☐	☒
・ 環境経営計画	☐	☒
・ 実施体制	☐	☒

2024年7月20日

代表取締役 大塚 寿一

10. 環境活動の紹介

弊社では、断熱性能、再生可能エネルギーだけでなく間取り、住まい方による省エネルギー効果をお客様に提案、ZEH普及に力を入れています。

ZEH(ゼッチ)とはネット・ゼロ・エネルギーハウス

(政府が推進している省エネ住宅を追求した新しい住宅の形)

「省エネによって消費するエネルギーを減らすこと」・・・

- ・ 高断熱でエネルギーを極力必要としない
- ・ 高性能設備でエネルギーを上手に使う 等

「消費したエネルギーと同等のエネルギーを作り出すこと」・・・

- ・ 太陽光発電
- ・ 蓄電システム 等 により

年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとする事を目指した住宅

※ZEHは人の生活も考えた省エネができるため、大きなメリットのある住宅システムです。

《 ZEH事業計画書 》

【1】 ZEH周知・普及に向けた具体策

ホームページへの提示及び見学会、各種セミナー等で幅広いお客様にZEH基準の家づくりの周知、普及を行う。

【2】 ZEHのコストダウンに向けた具体策

ZEHのモデルプランの標準仕様を作成する。

高性能断熱材、高断熱サッシ・ガラス、高効率設備、高効率太陽光発電等の原価見直しによりコストダウンを図る。

【3】 その他の取組など

断熱性能、再生可能エネルギーだけでなく間取り、住まい方による省エネルギー効果を提案。



10. 環境活動の紹介

弊社では、国連が提唱する国際目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、本業を通じ積極的な取り組みにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SDGs宣言をしました。



大塚建設株式会社 はSDGs宣言します。

 1. 貧困をなくそう	1. 適正な社会保険等への加入、労働条件の改善	 3. すべての人に健康と福祉を	2. 社員の健康増進対策の推進（健康診断等）
 4. 質の高い教育をみんなに	3. 社員の技術研修、資格取得の推進	 5. ジェンダー平等を実現しよう	4. 休暇制度（育児、介護休暇等）の整備と取得推進（男女共）
 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに	5. ZEH（政府が推進している省エネ住宅）の普及推進、再生可能エネルギーの普及推進	 8. 働きがいも経済成長も	6. 働き方改革の推進、定年者への雇用延長の導入
 11. 住み続けられるまちづくりを	7. 防災・減災対策（耐震住宅の普及推進）	 12. つくる責任 つかう責任	8. 建設資材等のリサイクルの推進、廃棄物発生の抑制、既存住宅のリノベーションの推進

令和4年7月1日
大塚建設株式会社
代表取締役 大塚 寿一